

飯森範親、熟練のタクト!
若き巨匠との豪華共演!

チャイコ名曲決定版!!

Best of チャイコフスキー

《Program》

ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

交響曲 第4番 ヘ短調 op.36

【指揮】飯森範親

【ヴァイオリン】成田達輝

【チェロ】横坂 源

【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

2023 5.13 (土) 14:00開演 (13:00開場)

ザ・シンフォニーホール

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)

主催：日本センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycorner.jp>

■ センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 (平日 10:00~18:00) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorner/> (パソコン・携帯)

■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorner/> [Lコード: 54336]

■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorner/> [Pコード: 235-805]

プレイガイド

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

ザ・シンフォニーホールと日本センチュリー交響楽団とのコラボ企画「Best of チャイコフスキー」は、不動の人気を誇る作曲家、チャイコフスキーの“名曲決定版”コンサート。

日本センチュリー交響楽団の首席指揮者を務める飯森範親は、ロシア音楽も得意としており、まさにうってつけのプログラム。また、この公演のために、弦楽器界の二人のスーパースターが登場する。《ロココの主題による変奏曲》を演奏するのは、横坂源。近年、ザ・シンフォニーホールで演奏する機会が多く、リサイタルも好評だ。聴く者の心を揺さぶる歌心に満ちた横坂の演奏に、期待が高まる。また、多彩なレパートリーを弾き分ける成田達輝が奏でる《ヴァイオリン協奏曲》も注目だ。そして、この2つの作品のはざまに書かれた《交響曲第4番》も演奏される。

チャイコフスキーの創作の筆が最ものっていた時期の名曲を、じっくりと味わっていただきたい。

文・道下京子



©山岸 伸

[指揮] 飯森範親

Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、22年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。23年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ

<http://iimori-norichika.com/>



©Takashi Okamoto

[チェロ] 横坂 源

Gen Yokosaka, Cello

シュツットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で学ぶ。全日本ビバホール・チェロコンクール第1位(史上最年少)、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。これまでに「出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞」を受賞。近年ではS. スヴィリドフ:チェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演をWürth Philharmonikerと、日本初演を東京交響楽団と行い、日本フィルハーモニー交響楽団とM. ルグラン:チェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年5月には、東京都交響楽団とP. デュサパン:チェロ協奏曲《アウトスケイプ》の日本初演を果たした。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



©Marco Borggreve

[ヴァイオリン] 成田達輝

Tatsuki Narita, Violin

ロン＝ティボー国際コンクール(2010)で第2位およびセサム賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012)にて第2位およびイザイ賞受賞、仙台国際音楽コンクール(2013)で第2位受賞。著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルや室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っている。海外での演奏活動も積極的に行っており、2018年、2019年には韓国平昌で行われた音楽祭、2018年はミンスクで行われたユーリ・バシメット音楽祭に参加している。使用楽器は、ストラディヴァリウス“Tartini”(宗次コレクションより貸与)。

日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

